旧MIST並びに旧JASMISSの会員の皆様へ
（BCC配信）

この度、第23回関東JASMIST研究会を2026年10月24日（土）、恵比寿ガーデンプレイス The Garden Room ならびにSpace 6にて開催いたしました。
本研究会では、低侵襲脊椎治療の最新の知見や手術手技に加え、脊椎外科医のキャリア形成、医療者のメディアリテラシーなど、従来の枠組みにとらわれない幅広いテーマを取り上げました。当日は約100名の方々にご参加いただき、活発な討論と交流を通じて、盛況のうちに終えることができました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。

最初の一般演題は8演題のご発表があり、内視鏡手術や低侵襲固定術、脊髄刺激療法、経仙骨的脊柱管形成術、難治性疾患や希少例など、興味深い症例や研究成果をご発表いただきました。各施設における創意工夫や新たな取り組みについてご発表いただき、また質疑応答でも若手からベテランまで自由に意見を交わす、本研究会らしい有意義なセッションとなりました。

教育研修講演「Spine Surgeons' Career & Innovation」では、調布くびと腰の整形外科クリニックの米山励子先生と、松戸整形外科病院の安宅洋美先生にご登壇いただきました。米山先生からは、内視鏡手術のエキスパートとしての地位を築かれるまでの歩みとともに、次世代の脊椎外科医に向けたエッセンスを体系的にお示しいただきました。安宅先生からは、既存の概念にとらわれることなく、患者さんの声に真摯に耳を傾け、日々の臨床から新たな知見を見いだし、治療の進歩につなげてこられたご経験をお話しいただきました。お二人のこれまでの歩みは、若手医師にとって大きな励みとなるとともに、指導的立場の先生方にとっても次世代の育成や職場環境について考える機会となる大変示唆に富む内容でした。

続くシンポジウム1では、「Beyond Single Modalities: Strategic Integration in Modern MIST」をテーマに、佐々木克幸先生、福島成欣先生、原田智久先生、有村大吾先生にご講演いただきました。aFESS、UBE、SCS、TSCPなど、それぞれ異なるアプローチから、最新の低侵襲脊椎治療の実際と今後の可能性についてご講演いただきました。患者さんの病態に応じて治療戦略を考慮する、これからの低侵襲脊椎治療の方向性について理解を深める大変貴重な機会となりました。

シンポジウム2では、「Advancing Lumbar Interbody Fusion: Navigation and Modern MIST Techniques」と題し、小島敦先生、福武勝典先生、瀬川知秀先生、檜山明彦先生にご講演いただきました。ナビゲーションシステムを活用した内視鏡下腰椎椎体間固定術、ME-ELIF、UBEを用いたTrans-Kambin椎体間固定術、LLIFにおける間接除圧のエビデンスなど、最新の腰椎椎体間固定術に関する知見をご紹介いただきました。それぞれの手技の特徴や適応、利点と課題について、実際の臨床経験に基づく大変実践的な内容であり、今後の低侵襲脊椎固定術の発展を考えるうえで非常に有意義なセッションとなりました。

最後の特別講演では、スマートニュース メディア研究所所長の山脇岳志先生をお招きし、「医療者のメディアリテラシーと医療倫理―SNS・AI時代における情報の受発信の観点から―」と題してご講演いただきました。SNSや生成AIの急速な普及に伴い、医療者が情報をどのように見極め、適切に発信していくべきかについて、具体的な事例を交えながら分かりやすくご解説いただきました。豊かなご見識と機知に富んだ内容で、通常の学術講演とは異なる視点からご講演をいただき、現代における情報リテラシーの重要性がいかに大きいものか学ぶ貴重な機会になりました。ご参加された先生方からも大変好評で、本研究会にとっても意義深いものであったと感じております。

また、サブ会場ではハンズオンセミナーを開催し、講師の折田純久先生、柴尾洋介先生、また座長の檜山明彦先生、三浦紘世先生に、最新のデバイスや技術を実際に体験しながら学べる実践的な講習をしていただきました。

閉会式では、一般演題に対する最優秀演題賞、優秀演題賞、最優秀討論者賞の表彰を行いました。厳正な審査の結果、最優秀演題賞は国際医療福祉大学医学部3年の董天白君、優秀演題賞は参宮橋脊椎外科病院の李徳哲先生、最優秀討論者賞は東京都済生会中央病院の石原慎一先生が受賞されました。受賞された先生方に心よりお祝い申し上げます。また、日本低侵襲脊椎治療学会（JASMIST）副理事長の富田卓先生よりご挨

拶とJASMIST設立についてご説明をいただき、最後に次回第24回関東JASMIST研究会の当番世話人であるさんむ医療センターの石川哲大先生よりご挨拶をいただきました。





研究会終了後には、恵比寿ガーデンプレイスタワー39階の「ボッチャーノ」にて懇親会を開催し、約50名の方々にご参加いただきました。施設や世代の垣根を越えた交流が行われ、日頃の診療や研究について語り合いながら、親睦を深めることができました。本研究会の大きな魅力である、自由闊達な議論と温かな交流を改めて実感するひとときとなりました。

皆様のご協力のおかげをもちまして、第23回関東JASMIST研究会を無事、盛会のうちに終えることができました。ご講演・ご発表いただきました方々、座長ならびに世話人の先生方、ご支援を賜りました協賛企業の皆様、準備・運営にご尽力いただきました事務局スタッフおよび関係者の皆様、そしてご参加いただいたすべての皆様に、改めて深く感謝申し上げます。



次回の第24回関東JASMIST研究会は、石川哲大先生を当番世話人として、2027年2月27日に東京ミッドタウン日比谷にて開催予定です。多くの皆様にご参加いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

第23回関東JASMIST研究会
当番世話人　国際医療福祉大学医学部 整形外科学　船尾 陽生
事務局長　岩井整形外科病院　水越　諒